

## 第2学年 技術・家庭科学習指導案

平成30年1月17日（水）第5校時

活動場所 教室

### 1 題材名 「幼児の成長から自分の成長をみつめよう」

家庭分野 A家族・家庭と子どもの成長（1）ア（2）イ（3）アイウエ【16.5時間扱い】

### 2 題材設定の理由

#### （1）生徒観

生徒は第1学年において、「家庭のはたらき」や「家庭の仕事を支える社会」「家庭生活と地域との関わり」について学習してきた。本題材は、第3学年で学習を進めていく予定である。その導入の授業を第2学年の3学期から進めることで、来年度「幼児との触れ合い活動」や「親になるための学習」等の実習を確実にやりたいと考えている。以下は、学習前に行ったアンケートの結果である。

#### 《省略》

幼児に対して「かわいい」「一緒にいて楽しい」「癒される」というイメージをもっている生徒が多いが、その一方で「幼児と関わる機会をもちたくない理由」としては、「すぐに泣く」「泣いた時、どうしたらいいかわからない」「めんどろ」ということを挙げている。

高齢者に対しては「話を聞くのが楽しい」「人生の相談をしたい」「介護の仕方を学べる」「知識が増える」という理由から関わる機会をもちたいと考えている生徒が多くいる。しかし、関わる機会をもちたくないと考えている生徒たちの理由としては「一緒に住んでいないから関わり方がわからない」「ちょっと大変そう」「めんどろそう」というものだった。

これらのことから、身近に幼児や高齢者と関わる機会の少ない生徒たちにとって、実際に幼児と触れ合う体験を行う必要があると考える。また、自分の成長に祖父母や地域の高齢者がどのように関わってくれていたかを理解することで高齢者のイメージを変えることにつながり、家族や地域への関心も高まるのではないかと考える。

#### （2）題材観

現行の学習指導要領では、「家族・家庭に関わる教育」と「幼児の心身の発達に関する理解のための教育」の充実がより一層求められている。中学校の家庭分野「A家族・家庭と子どもの成長」では、小学校家庭科での学習を踏まえ、生活の自立を目指す中で人々に支えられて生活していることに気付かせ、家庭や家族の基本的な機能や家庭生活と地域との関わりを理解するとともに、幼児への理解を深め、子どもが育つ環境としての家族と家庭・地域の役割を考えさせたい。

本題材では、自分と人（家族・幼児・高齢者など）との関わりを考えさせ、自己を見つめる機会を繰り返し設定していきたい。様々な人との関わり方について、いろいろな角度から考えさせ、自分と様々

な人との関わりについて、これまでどのように関わってきたか、これからどのように関わっていききたいのかなどを自分の言葉で表現できるようにすることで、家庭や地域の中でよりよい生活ができる生徒の育成につなげていきたい。

### (3) 指導観

幼児の生活と遊び等の「幼児に関する学習」を展開する中で、幼児との関わりが少ない生徒に、幼児を身近なものとして捉えさせるためには、実際に幼児と触れ合う体験が効果的であると考えます。

適切な時期に触れ合い体験を実施し、「親になるための学習」との連携を図ることを通して、幼児に関心を持ち、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について理解を深め、家族や幼児に主体的に関わることができるようにさせたい。

体験活動や、話し合い活動（主体的・対話的・深い学びの考え方を取り入れた学習指導）を積み重ね、自己を見つめる活動を繰り返し行うことを通し、家庭や地域の中でよりよい生活ができる生徒の育成ができると考え本題材を設定した。

### 3 題材の目標

幼児と触れ合う等の活動を通して、幼児に関心を持ち、幼児の心身の発達や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫できるようにする。

### 4 題材の評価規準

| 生活や技術への<br>関心・意欲・態度  | 生活を<br>工夫し創造する能力                               | 生活の技術                           | 生活や技術についての<br>知識・理解   |
|--|--|---------------------------------|---|
| 自分の成長と家族や家庭生活との関わり、家庭と家族関係、幼児の生活と家族について学習活動に取り組み、家庭生活、家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。 | 家庭と家族関係、幼児の生活と家族について課題を見付け、その解決を目指して工夫し創造している。 | 幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 | 家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わり、幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 |

5 指導計画及び評価計画

| 時間          | ○ねらい<br>・学習活動  | 学習内容                   | ◇ 評価規準<br>◇ 評価方法  |  |       |  |
|-------------|--|------------------------|---|--|-------|--|
|             |  |                        | 生活や技術への<br>関心・意欲・態度   | 生活を工夫し<br>創造する能力                           | 生活の技術 | 生活や技術についての<br>知識・理解  |
| ①<br>本<br>時 | ○自分の成長を振り返り、幼児の生活と家族、幼児を支える様々な人々について関心をもつ。<br>・これまでの成長を振り返り、自分の家族との関わりを考える。                      | 自分の成長<br><br>自分と家族の関わり | ◇自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気づき、幼児の生活と家族について関心をもっている。<br>〈ワークシート〉<br>〈発表〉 |  |       |  |
| 2<br>3      | ○幼児の心身の発達の特徴について知り、家族の役割について理解する。<br>・視聴覚教材や身近な幼児の観察などを通して、幼児の心身の発達の特徴についてまとめ、それを支える生活について考える。   | 幼児の心身の発達               |   | ◇幼児の心身の発達に応じた接し方について考え、工夫している。<br>〈ワークシート〉 |       | ◇幼児の心身の発達の特徴について理解している。<br>〈ワークシート〉<br>〈テスト〉<br>◇幼児の発達を支える家族の役割について理解している。<br>〈ワークシート〉 |
| 4           | ○幼児の生活習慣について知り、家族の役割について理解する。<br>・視聴覚教材や身近な幼児の観察を通して、基本的な生活習慣を形成する時の家族の関わり方について考え、家族の役割について話し合う。 | 幼児の生活習慣                |   |  |       | ◇基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。<br>〈ワークシート〉                               |
| 5           | ○幼児の観察や遊び体験などを通して、幼児の遊びの意義について理解する。<br>・幼児の1日の生活を理解し、遊びと心身の発達との関わりについて考える。                       | 幼児の生活と遊び               |   |  |       | ◇幼児にとっての遊びの意義について理解している。<br>〈ワークシート〉<br>〈テスト〉  |

|          |  |                   |   |  |  |  |
|----------|--|-------------------|---|--|--|--|
| 6<br>7   | <p>○安全への配慮について十分に考え、幼児との触れ合い体験の計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児との遊び方や関わり方の工夫を考え、遊びの計画を立てる。</li> <li>・遊びの計画をグループで話し合い、発表する。</li> </ul>                      | 触れ合い体験の準備、計画      | <p>◇幼児と触れ合う体験などを通して、幼児に関心をもち、適切に関わろうとしている。</p> <p>〈観察〉<br/>〈ワークシート〉</p> | <p>◇幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び方について考え、工夫している。</p> <p>〈ワークシート〉</p>           |  |  |
| 8<br>9   | <p>○幼児との触れ合い活動を通して、幼児への関心を高めるとともに、幼児との関わり方を工夫できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の計画をもとに幼児と遊んだり、触れ合ったりする。</li> <li>・幼児の遊びと心身の発達の関わりについて観察する。</li> </ul>                 | 触れ合い体験（保育所での触れ合い） | <p>◇幼児と触れ合う活動などを通して、幼児に関心をもち、適切に関わろうとしている。</p> <p>〈観察〉<br/>〈ワークシート〉</p> |  |  |  |
| 10<br>11 | <p>○幼児の観察や触れ合い活動について意見交換をし、情報を整理することで幼児について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・触れ合い活動で観察してきたことや気付いたことなどを意見交換する。</li> <li>・触れ合い活動から、幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。</li> </ul> | 触れ合い体験の情報共有振り返り   |   | <p>◇幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを生かして考え、工夫している。</p> <p>〈ワークシート〉</p> | <p>◇幼児の遊びや幼児の発達と人との関わりなどについて、観点に基づいて観察したことを整理することができる。</p> <p>〈ワークシート〉</p> |  |

|                        |  |   |  |  |  |  |
|------------------------|--|---|--|--|--|--|
| 12<br>13               | ○子どもに関する諸問題や地域の実態から、家族や地域の役割を理解し、家族関係をよりよくするために考え、工夫することができる。<br>・子どもに関わる地域の施設や制度、ニュースなどを調べ、子どもを育てるための環境について考える。<br>・ニュースや事例家族から課題を見付け、よりよい生活を送るための工夫を考える。 | 子どもの成長と地域<br><br>幼児を取り巻く環境                      | ◇これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。<br>〈観察〉<br>〈ワークシート〉 | ◇自分の生活や事例の家族について課題を見付け、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。<br>〈ワークシート〉                                     |  | ◇子どもを育てる環境としての家族や地域の役割を理解できる。<br>〈ワークシート〉<br>〈テスト〉 |
| 14<br>15<br>16<br>16.5 | ○家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できる。<br>・自分の生活を見直すことで課題を見付け、計画する。<br>・課題を実践し、評価する。<br>・実践したことを発表し、意見を交換することで、自分の実践を見直し、改善する。             | 課題設定・計画<br><br>親になるための学習<br>(親子来校)<br><br>評価・改善 | ◇家族又は幼児の生活をよりよくすることに関心を持ち、課題を主体的にとらえ、計画と実践に取り組もうとしている。<br>〈ワークシート〉         | ◇家族又は幼児の生活について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに計画を工夫している。<br>◇実践の成果と課題についてまとめたり、発表したりしている。<br>〈ワークシート〉<br>〈発表〉 |  |  |

## 6 本時の学習 (1/16.5時間)

### (1) 本時の目標

- ・自分の成長を振り返り、幼児の生活と家族、幼児を支える様々な人々について関心をもつことができる。

### (2) 評価規準

- ・自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付き、幼児の生活と家族について関心をもっている。【関心・意欲・態度】

(3) 展開

| 学習過程<br>(時間)       | ○学習内容<br>・学習活動  | □教師の働きかけ   | 評価と指導<br>【 】評価の観点<br>〈 〉評価方法<br>◇ 評価規準<br>◎「十分満足できる」状況<br>→努力を要する生徒への<br>指導の手だて            |
|--------------------|---|--|--|
| 導入<br>(8)          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達心理学におけるライフサイクルを知る。</li> <li>・幼児の服・くつ・手形などと今の自分を比較する。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>□幼児に関心をもたせるため、実物資料を提示する。</li> <li>□幼い頃を振り返らせ、これまでの生活を思い起こさせる。</li> <li>□生徒のプライバシーには十分配慮する。</li> </ul> |  |
| 問題発見<br>(2)        | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     自分はどのように成長してきたのだろうか。                 </div> |  |  |
| 課題追求①<br>(15)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の成長（これまでの人生）に家族以外で関わりが深い人を挙げる。</li> <li>・その理由も考えてまとめる。</li> <li>・自分の考えを4人グループで発表する。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>□色々な人との関わりを出させるため、生まれてから中学2年生に成長するまでを思い起こさせる。</li> <li>□1年のリエンテーションでまとめたワークシートを見直させる。</li> </ul>      |  |
| 課題追求②<br>(20)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族の思いを知る。</li> <li>・「母親からの手紙」「祖父からの手紙」を読み、感想を発表する。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>□親や家族が子どもを大切に思う気持ちや、一人一人がかけがえのない存在であることに気付かせるため、手紙を紹介する。</li> </ul>                                   |  |
| 問題解決<br>まとめ<br>(5) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の成長を振り返る。</li> <li>・自分はこれまでどのように成長してきたのかについて考える。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ここまで成長してきたことは、家族や様々な人に支えられてきたことに気付かせるため、本時の学習を振り返らせながらまとめさせる。</li> </ul>                             | <p>【関心・意欲・態度】(ワークシート)</p> <p>◇自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気づき、幼児の生活と家族について関心をもっている。</p> |

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
|  |  |  | <p>◎家族等の支えに気付き、<br/>自分の成長を振り返るとともに、幼児と家族との関わり大切に付いている。</p> <p>→ 4人班での情報を見返し、母親からの手紙、祖父からの手紙をもう一度読ませる。</p> |
|--|--|--|---|